



ねりまの文化財

史跡散歩

わがまち再発見

練馬大根と伝説の地を訪ねて

5/20



子育て地藏 (早宮3-42)

五月晴れの空の下、練馬駅北口の練馬文化センター正面玄関横に集合しました。参加は、6才から81才までの老若男女72人。講師は、郷土史研究家の桑島新一氏と園川章氏の2名。参加者は2班に分かれて、文化財を巡りました。
 (コース) 白山神社↓栗山(開進第2中学校)↓堰ばあさんの伝説地↓早宮の屋敷森(内田家)↓子育て地藏↓本寿院↓白蛇・黒蛇伝説地↓一里塚子育て地藏・又六庚申塔↓愛染院↓練馬大根碑
 白山神社では、国指定天然記念物大ケヤキを見て、それにまつわる源義家の奉納伝説を聞きました。この大ケヤキは、

練馬区教育委員会
 社会教育課
 (文化財保護係)
 ☎ 993-1111 内線 2766
 〒176 練馬区豊玉北6-12-1

| 平成元年度 刊行物売上げベスト10 (社会教育課・郷土資料室) | |
|---------------------------------------|--------------|
| 9 | 葛原遺跡B地点調査報告書 |
| 9 | 教育の先駆者たち |
| 8 | 練馬の民家と屋敷森 |
| 6 | 高稲荷遺跡 |
| 6 | 練馬区の遺跡 |
| 5 | ねりまの昔ばなし |
| 4 | 〃 |
| 3 | 練馬の寺院I 改訂版 |
| 2 | 練馬の神社 |
| 1 | 練馬を往く |
| | (順位) |
| | (単価円)(冊) |
| 2,400 | 150 |
| 150 | 150 |
| 1,900 | 900 |
| 800 | 800 |
| 100 | 100 |
| 100 | 100 |
| 100 | 100 |
| 100 | 100 |
| 100 | 100 |
| 200 | 200 |
| 40 | 40 |
| 41 | 42 |
| 42 | 42 |
| 42 | 42 |
| 49 | 49 |
| 89 | 89 |
| 90 | 90 |
| 92 | 92 |
| 93 | 93 |

老化現象のために倒れかけていて、現在対策が検討されています。
 本寿院では、住職が長年にわたり収集された民俗資料等が資料室に展示されていて、特別に見学させていただきました。これらの収集品の中には、江戸時代の大砲や、筒型の電気洗濯機、氷を入れる冷蔵庫など、珍しい物やなつかしい物がありました。
 愛染院の参道には、かつて練馬の主要な産物であった練馬大根の記念碑があります。この碑は、昭和15年(1940)に、練馬漬物組合を始めとする有志、町の皆さんが建立されたものです。墓壇には多数の沢庵漬の重石が用いられています。

変化の激しい地域の中で!!

文化財保護推進員
鈴木 曹元ともちか

私は、故松本龍雄先生の後を引継いで文化財保護推進員になりました。担当は旧下練馬しもねりま 1 帯(北町・錦・水川台・平和台・早宮・桜台・練馬・栄町・羽沢)という広い地域ですので、亀井邦彦推進員との2名で文化財の巡回を行なうことになっています。

練馬区は、区部でも比較的良好な住宅地でした。しかし、私の住んでいる区東部の一帯は、戦後から、幹線道路の交通量が増加し始め、河川の汚濁が進みドブ川と化してきました。そのため、下水道の設置、道路構造、沿道環境などを改善しなければならなくなりました。

昭和25年頃から地藏尊、庚申塔、神社等の移動が始まりました。私を知るだけでも、次の様な移動や変化がありました。

①光伝寺にある地藏尊は、桜台1-29-22から移動。②莊嚴寺、山門のかたわらの庚申塔2基は、昭和40年までは羽沢2-1-5にありました。③御岳神社みむねは、昭和40年に桜台2・29・15に移動。④羽沢2-1-13の「ゆうすい」池は、子供の事故などもあり、昭和58年10月新桜台駅の開業に合わせて、上をおおうことに

なりました。

石造物や祠だけではありません。地名や道の名前さえも、時代により変化しています。例えば、地元で「正久保通り」と言われている道は、現在は新桜台駅から正久保橋までとされているが、その同じ通りが、かつては「埼玉通り」(牛込目白、下町から白子、埼玉へ)あるいは「高田道」とも呼ばれていました。また、「埼玉通り」(あるいは「埼玉道」)は、一時期は練馬から豊島園、春日町、成増埼玉へというルートだったように記憶しています。

また、自然の方に目を向ければ、今は殆んど何も棲息していない石神井川にも、昭和30年頃までは種々の動植物がみられました。

私は、このように変化の急であった桜台周辺地域の中で、自分なりに郷土の歴史や自然について研究して参りました。

その中で、今回は郷土のむかしの姿をあきらかにする作業のひとつとして、栄町、羽沢、桜台とその周辺の、子供の遊びを調べてみました。主な遊び場を、地図中に左の番号で示してみました。

文化財講座 第1回

今回の文化財講座は、「練馬の緑・武蔵野の林」をテーマに、郷土に残してゆく文化遺産の一つである、みどりについて学びました。講師は、自然観察指導員埼玉連絡会会長の田村説三氏。(元県立川越女子高等学校校長)

①(水) 区立婦人会館 視聴覚室

○講義 武蔵野の自然

○写真展示 武蔵野台地のその上で

参加47名(応募102名から抽選)

②(木) 野火止用水、三芳町立歴史民俗資料館、多福寺境内の雑木林

自然系の文化財講座は、これまであまり

り取扱ってこ

なかつた企画

ですが、ベテ

ランの講師と

いうことで、

参加者からは

「講師の人選

が良いですね

…」とおほめ

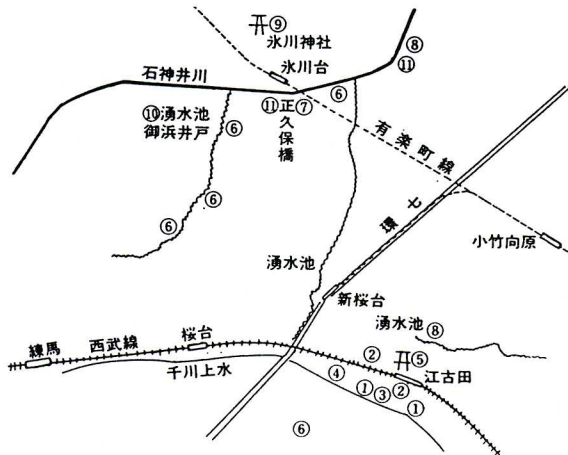
の言葉をいた

だくほどでした。



三芳町・多福寺境内の雑木林

た。



昭和20年までの子供の遊び
聞き取りなどによる調査(鈴木曹元)

① へ野原へタコあげ、トンボとり、竹ト
ンボ、竹馬、相撲、戦争ごっこ、キャッ
チボール。② へ商店うらへベーゴマ、ビ
ー玉。へ商店通路へ石けり、ケンダマ、
ナワトビ、メンコ、鬼ごっこ、羽根つき、
馬跳び、ローセキ遊び。③ へローラース
ケート場へ花火、ローラースケート。
④ へ稲荷神社へ3の日が縁日。当時の小
遣いは10銭が相場。⑤ へ浅間神社へ(セ
ンゲンサマ)富士山登り(裏山登りとも)
かくれんぼ。⑥ へ畑。田んぼへメダカ、
ハヤ、フナ、クチボソ、蛙、水スマシ、
ゲンゴロウ、螢、蟬とり。⑦ へ正久保橋へ
水泳、魚釣り。大雨で豊島園から鯉など
が逃げ、田の畔で鯉釣りができました。

⑧ 水泳。⑨ へ氷川神社へお祭り。⑩ へ御
浜井戸へタニシ、ミズスマシ、ゲンゴロ
ウ、螢、トンボ、ヨシキリ、蛙、ドジョ
ウ、ウナギ、ヤツメウナギとり。⑪ へ水
車へ当時はまだ米つき、粉ひきを行って
いました。
野原や街中の遊びには、次の様なもの
を造ったり買ったりして使いました。
.....
竹トンボ、竹馬、吹き矢、竹スキ、水銃砲、弓矢、パチンコ
(木の二又利用)、シャボン玉、タコゴム動力の飛行機
戦車、メンコ、ベイゴマ、トンボ取り器
.....

郷土資料室では、6月16日(土)、17日
(日)、午後7時から9時まで「ゲンジボ
タルの観察会」を行いました。
このホタルは、職員が餌のカワニナ

ゲンジボタルの群舞

(淡水産の巻貝の一種。かつては用水路や
小川に多く棲んでいた)の養殖からはじ
めて、手造りの飼育場で育てているもの
です。幼虫は、ふ化してから約1年間水
中ですごし、4月中旬に上陸、地中にも

ぐり蛹まごとなります。6月に入ると羽化し
て飛び立つのです。
「ゲンジボタルの観察会」には、約千100名
の来観客がありました。ホタルは良好な

自然環境のシンボルです。来観した方々
が、羽化してわずか2週間の短い生命を
精一杯輝やかせているホタルを見て、自
然環境を守る大切さを考えて下さるよう、
担当者は願っています。

練馬区では、白子川水系の東大泉二丁
目にある八の釜憩いの森で、自然の中に
ホタルをよみがえらせる努力をしていま
す。

郷土資料室の南側、石神井農協本店横
にかかる橋の名前を、螢(はたる)橋と
言います。石神井川の川辺にホタルが群
舞したのは、いったいいつの頃までだっ
たのでしょうか。(三宝寺池では、昭和
20年代に水質の悪化など生息環境の破壊
が進み始めたという記録があります)

古文書調査と目録作成

6月14・15の両日、郷土資料室で、区登録文化財加藤家文書(加藤喜八氏所蔵、土支田四丁目)の調査が行われた。これは、区教育委員会から、柴辻俊六氏(練馬古文書研究会顧問)が委託を受け、当会会員が実施したもので、会員延べ20名が携わった。

寛政3年(1791)から昭和まで、200年にわたる古文書230点が明らかになった。文書は一点ずつ表題・内容・年代を確認する。さらに形態・数量をチェックしてカード化する。原文書は補修を加え、大小の角

封筒に収納整理、カードと対照して年代順に一連番号を付ける。その間、数人の眼で確認がなされ、完全を期した。バラバラだった後欠、前欠の文書が同一長状の前後であって、貴重な史料であることも判った。

なお、目録作成に数日を要した。

練馬古文書研究会は、これまでに『妙福寺文書集』『小島家文書目録』(以上登録・指定文化財)、『下練馬村内田家文書』の編集・刊行を手がけ、確かな実績をかさねている。(練馬古文書研究会委員 桑島新一)

前号でお知らせした、郷土資料室へ特別展「写真で見える神社の石造物」が、6月17日終了しました。延べ70日間の来観者は、中学生以上千519人、小学生以下千172人、計2千691人でした。

左の文化財日誌を見てもわかるように埋蔵文化財関係の動きが活発です。

この日誌に登場しない「相談」「届出」などが多数あり、そのうえ現在進行中の大規模発掘調査もあります。個人住宅などの、調査費用の負担が困難なものには、国や都の補助金を利用する方法もあります。ご相談はお気軽にどうぞ!!

文化財日誌

(平成2年4月1日～6月30日)

＜4月＞

10日 埋蔵文化財立会(大泉町三丁目)

17日、19日 埋蔵文化財立会(大泉町三、四丁目)

＜5月＞

1日 練馬区遺跡調査会役員会、東京外かく環状道路練馬地区遺跡調査会役員会

埋蔵文化財立会(富士見台四丁目)

11日

〃

(旭町三丁目)

12日 埋蔵文化財立会(小竹町二丁目)

18日 〃 (東大泉二丁目)

20日 春の史跡散歩

23日 埋蔵文化財立会(関町北三丁目)

24日 〃 (東大泉四丁目)

25日～26日 全国民俗芸能保存振興市町村連盟総会(三浦市)

28日 埋蔵文化財立会(向山三丁目)

31日 〃 (石神井町五丁目)

＜6月＞

1日 埋蔵文化財立会(関町北三丁目)

4日 〃 発掘調査(早宮一丁目)

5日 文化財保護推進員会

6日～7日 文化財講座(第一回)

9日 埋蔵文化財立会(豊玉南三丁目)

11日 文化財調査 尾張殿鷹場碑

12日 埋蔵文化財立会(東大泉七丁目)

12日～13日、15日 埋蔵文化財立会(大泉町三、四丁目)

13日～29日 古文書委託調査

16日～17日 ホタル観察会 郷土資料室

18日 文化財保護審議会

22日 埋蔵文化財立会(富士見台四丁目)

27日 〃 (旭町三丁目)

28日～9月末日(予定) 東早淵遺跡発掘調査(早宮一丁目)